

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学部		
科目名称 [英語名称]	韓国語コミュニケーションⅡ [Korean Communication Ⅱ]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	750156	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	章 大寧			学位授与の方針 との関連			
授業概要	韓国語コミュニケーションⅡでは、前期半年の学習成果をもとに、基礎会話・基本表現を身に着けることを目標とする。必要に応じて、また理解度・進捗状況に応じて、関連の基礎単語、文法的事項、多様な表現方法を学習する。						
関連する科目	韓国語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ						
授業の進め方と方法	講義進行はテキストに即して進める。受講生一人一人の理解と習得状況を確認しながら繰り返し練習する。宿題による自己学習と予習・復習を徹底する。韓国の文化や歴史に関心を持ち、日韓理解の向上と国際性の涵養に努める。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 講義方針・前期の復習</li> <li>2 する・いる・ヨ体表現 (第6課、テキストp70-75)</li> <li>3 動詞・形容詞の表現 (第7課、テキストp76-81)</li> <li>4 動詞・形容詞・ヨ体表現 (第8課、テキストp82-89)</li> <li>5 漢数詞 (第9課、テキストp90-97)</li> <li>6 固有数詞 (第10課、テキストp98-105)</li> <li>7 敬語表現 (第11課、テキストp106-111)</li> <li>8 動詞・形容詞の否定形 (第12課、テキストp112-117)</li> <li>9 過去形 (第13課、テキストp118-125)</li> <li>10 勧誘表現 (第14課、テキストp126-133)</li> <li>11 現在進行形 (第15課、テキストp134-139)</li> <li>12 可能・不可能 (第16課、テキストp140-147)</li> <li>13 願望・禁止 (第17課・第18課、テキストp148-159)</li> <li>14 義務・意志 (第19課・第20課、テキストp160-171)</li> <li>15 総合復習</li> </ol>						
授業の到達目標	ハンゲルの思想と原理を理解し、子音母音の組み合わせ方、発音方法、読み書きを習得する。韓国語の基本表現・基礎単語を習得し、読み書きができる。韓国の歴史・文化への関心と理解を持ち、日韓理解の向上と国際性の涵養に努める。学習成果を生かして、積極的・主体的なコミュニケーション行動が取れる。						
授業時間外の学修	講義内容・テキストに沿って予習と復習を徹底する。講義中に出された宿題について調査し、レポートを提出する。日韓の歴史・文化に関心を持って、情報を収集し、知識を深める。						
課題に対する フィードバック	宿題やレポート提出等は、事前・事後とも十分に説明し、受講生との意思疎通を図る。疑問・質問には受講生が納得するまで丁寧に対応する。	評価方法	文字の理解度・読み書き 50%  文章の理解度・基本表現 50%				
テキスト	木内明「基礎から学ぶ韓国語講座」、初級、改訂版、CD付き、国書刊行会。						
参考書	木内明「基礎から学ぶ韓国語講座」、中級、改訂版、CD付き、国書刊行会。  ハン・コーウン「絵で見る韓国語」、IBCパブリッシング株式会社。  白峰子、大井秀明訳「韓国語文法辞典」、三修社。  尹亭仁「身につく韓日・日韓辞典」、三省堂。  民衆書林編集局「NEWポータブル日韓・韓日辞典」、三修社。						
備考	韓国語講義は、前期Ⅰと後期Ⅱは別々ではなく通年講義として計画し、1年間で完成するようになっている。したがってⅠ・Ⅱの順番に通年受講することが望ましい。Ⅱの受講はⅠ合格者に限る。後期だけの受講、または後期からの受講は原則的に認めない。受講状況によってキャンパスごとに合併授業をすることがある。						